

大学知財管理・技術移転協議会臨時総会議事録

1, 日時 平成16年9月30日 9時30分～10時

2, 場所 東京フォーラム B7 ホール

3, 議事内容

石丸事務局長が開会を告げ、大野豊副会長に挨拶を求めた。同副会長は、挨拶のあと議長席につき、定足数と出席者数の確認を行い、全員総数54人に対して会員出席者数32人で定足数を満たしており、本臨時総会は有効に成立している旨を宣言した。

次に、議長は、理工学振興会の清水理事と、東北テクノアーチの尾坂理事を議事録署名人に指名し、両人もそれぞれ同意した。

第1号議案 協議会の解散について

議長は、法人化検討委員会の勝田委員長（早稲田大学産学官研究推進センター）に対して、現協議会の法人化検討について結果報告を求めた。同委員長は、法人化が必要であること、有限責任中間法人が最適法人であること、法人化への課題に対して対処ができることの報告を行った。

議長は、この報告を受け、現協議会について新法人設立を機に解散すべきか否かを議場に諮ったところ、賛成32票、議決権行使賛成者11票、議長一任10票を加え53票となり、会員総数の3/4を超えたので、現協議会の解散が原案どおり可決された。

第2号議案 残余金の処分について

議長は、本提案の趣旨説明を求めた。石丸事務局長は、本年4月からの会計報告を行い、同年9月24日現在、残余金が普通預金17,599,841円及び現金41円となることを述べ、これを監事団を代表し、篠原監事が証した。議長は、これに基づき、現協議会が新法人に対し、同年9月30日現在の残余金のうち、1,700万円を出資するものとし、その余は寄付することとする旨を議場に諮ったところ、議決権行使者11票、議長一任10票を含め、賛成票53票となり、会員総数の3/4を超えたので本議案は原案どおり可決された。

以上で全議案の審議を終えたので、議長は、議事の終了を宣告した。

大学知財管理・技術移転協議会

議長 大野 豊 印

議事録署名人 清水 勇 印

議事録署名人 尾坂 芳夫 印